

SAPESI Newsletter 2026

RECONNECTING, RESTARTING, AND STRENGTHENING IMPACT

コロナ後の本格再開にあたって

COVID-19の影響により中断していた本ニュースレターを再開いたします。パンデミック下においても、SAPESIの図書館車事業は各州教育庁との連携のもと継続してまいりました。この困難な時期を経て、私たちは移動図書館を通じた教育支援の重要性をあらためて実感しております。



2025年3月、駐日南アフリカ共和国大使館と「第9回 移動図書館車の出港を祝う会」を開催。上記の移動図書館車は広島県竹原市から譲り受け、コマツ南アフリカの信託会社である Komatsu Foundation Trust よりCSR資金の援助を受けて実現しました。(詳細は [こちら](#))



広島県竹原市から南アフリカ共和国に到着した移動図書館とともに、SAPESIメンバー、ハウテン州教育省図書部長とチームの皆さん(詳細は [こちら](#))

2026年
SAPESIの重点方針

- 各州教育庁との連携強化
- 車両運用の実態把握と改善
- 修理・維持管理体制の安定化

SAPESIは、移動図書館を通じて子どもたちの**読む・理解する・書く力**を支える基盤づくりを継続してまいります。私たちは新規移動図書館車の導入と並行し、南アフリカへ導入済みの各車両の現状把握、実効性の検証、改善活動などに各州政府担当者と共に取り組んで参ります。また同国内に拠点を持つ自動車メーカー各社との連携を通し、移動図書館車の修理、メンテナンス支援も提供していく予定です。

Gauteng州への図書館車 3台寄贈

2026年、Gauteng州において新たに3台の図書館車が配備されます。今回の配備先は、地方からの人口流入が顕著なヨハネスブルグ南部郊外地域です。都市周縁部では、学校・図書施設の整備が人口増加に追いついていない地域もあり、移動図書館の役割は一層重要になっています。

9州図書館車の現況一斉調査

昨年のQuarterly Meetingにて提起された車両現況調査を、各自動車メーカーのご協力のもと本格実施します。修理遅延や点検未実施の事例については、各州と個別に協議を進めます。



SAPESI-Japanが南アを訪問

2026年3月、SAPESI-Japanより2名が南アフリカを訪問予定です。基礎教育省および各州教育庁との面談、車両運用実態の確認、持続可能な運用体制に関する協議を行います。



法人寄付および書籍の寄贈

長年にわたり支援を継続いただいている住友商事様を中心に、プレトリア大学関係者、日本の高校生など、多くの皆様の協力により、質の高い書籍が現地に届けられています。

SAPESIより皆様へ、感謝の言葉

本活動は、南アフリカ基礎教育省および各州教育庁、日本国外務省、スポンサー企業各社、支援者の皆様、そして日本・南アフリカ両国の関係者の皆様のご支援により成り立っています。皆様の温かいご支援とご協力に心より感謝申し上げます。

図書館車は単なる車両ではなく、子どもたちが意味をもって読む力を身につけるための教育基盤です。これからも、一人ひとりの子どもたちの未来を照らす灯りとして、移動図書館事業を継続してまいります。



[NPO SAPESI - South African Primary Education Support Initiative](#)



Email: info@sapesiza.org